

令和6年度 社会福祉法人八海福社会事業報告書

(自令和6年4月1日～至令和7年3月31日)

1. 事業概況

今年度は、第9期南魚沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画で策定された、特養10人の定員増（ショート10人定員減）を行い、介護ニーズに即したサービス基盤を整備しました。また、高齢者の自立支援・重度化防止という介護保険制度の根幹に基づき、機能訓練・口腔衛生管理・栄養管理について、各職種が計画的かつ一体的に連携する体制づくりを進めました。さらに、義務化された感染症や災害対応力強化を図る業務継続計画の整備と研修訓練に取り組んできました。

こうしたサービス事業の大きな転換期にあつて、移行期間は厳しい稼働状況が続きましたが、下期以降特養が満床となり、ショートは堅調に推移、デイが昨年を大きく上回ったことなどから、計画以上の事業活動収益を上げることができました。

各サービスで医療依存度の高い利用者が増加するなか、11月にはゆきぐに大和病院が無床の包括医療センターへと移行し、市民病院がその入院機能を引き継ぎました。介護報酬改定では、施設で対応可能な医療範囲を超えた場合、協力医療機関と連携した適切な対応確保が義務付けられました。常時の相談体制、常時の診療体制、入院が必要な場合の受入れ体制の確保が求められ、いずれもきめ細かい対応をいただきました。

また、脱デフレと円安基調が続くなか、コメをはじめとした給食材料や燃油などの物価高騰に歯止めがかからず、コストが大幅に増加しました。この物価高騰を受け、市は2度の緊急支援事業補助金を交付したほか、施設では全員で取り組む節電アクションなど、コスト削減への取り組みを強化し対応しました。

人口減少と高齢化が加速するなか、人材の確保は一層厳しい状況となりました。持続可能な組織運営のため、人づくりを大きな目標として取り組み、介護労働安定センターから職業能力開発の支援を得て、研修を継続してきました。大幅な賃金水準の引き上げが困難ななか、前年度2.5%のベースアップに充当した介護職員処遇改善支援補助金の賃金水準を維持してきました。

法人運営を取り巻く環境は一層厳しいものとなりましたが、新たな時代へ向けて踏み出した1年となりました。以下、今年度の主な事業内容を報告いたします。

2. 経営する事業

(1) 第1種社会福祉事業

① 特別養護老人ホームの経営（特別養護老人ホーム雪椿の里）

(2) 第2種社会福祉事業

① 老人短期入所施設の経営（雪椿の里ショートステイ）

② 老人デイサービス事業の経営（雪椿の里デイサービスセンター）

③ 老人居宅介護等事業の経営（雪椿の里居宅介護支援事業所）

(3) 管理別事業（令和 6 年 7 月指定更新）

種 別	事業所番号	指定年月日	有効期限
介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム雪樺の里（定員 80 人）	1572400909	R 6. 7. 1	R12. 6.30
（介護予防）短期入所生活介護 雪樺の里ショートステイ（定員 10 人）	1572400891	R 6. 7. 1	R12. 6.30
通所介護 雪樺の里デイサービスセンター（定員 24 人）	1572400883	R 6. 7. 1	R12. 6.30
介護予防通所介護相当サービス 雪樺の里デイサービスセンター		R 6. 7. 1	R12. 6.30
（介護予防）認知症対応型通所介護 雪樺の里デイサービスセンター（定員 10 人）	1592400178	R 6. 7. 1	R12. 6.30
居宅介護支援 雪樺の里居宅介護支援事業所	1572400925	R 6.12. 1	R12.11.30

3. 管理別事業の状況

(1) 特別養護老人ホーム

特養は 7 月から入所定員を 80 床に増床。年間延べ人数 26,413 人、1 日平均利用者数 72.4 人で、およそ 4 か月かけて 10 月に満床とし、11 月以降の稼働率は 97.0%で安定推移してきました。平均介護度は 4.1、平均年齢は 90.6 歳（男性 88.1 歳、女性 91.1 歳）となり、90 歳以上が 63.8%を占め、年齢・介護度ともに上昇しました。

退所者数は 32 人（男性 6 人、女性 26 人）で、うち施設看取りが 22 人、退所者平均年齢は 91.7 歳、平均在所期間は 28 か月でそのほとんどが老衰の診断を受けています。

入院の状況をみると、年間 44 人、延べ 953 日（1 回平均 21.6 日）で、減少傾向となりました。しかし、入所後すぐに体調を崩しお看取りとなるケースが見られたほか、医療依存度の高い入所者が増加しました。

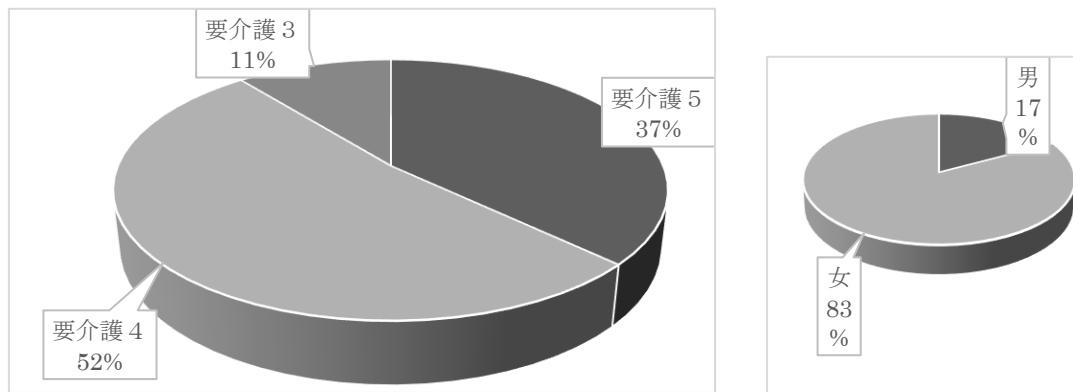
また、5 類に分類された新型コロナウイルス感染症の拡大はなく、面会や外出の機会を増やし、徐々にボランティアの受け入れを開始するなど、平時を取り戻してきました。

① 年間稼働状況

年 度	稼働日数	利用延べ人数	平均利用者数	年間稼働率
2 年度	3 6 5 日	2 4, 8 2 3 人	6 8. 0 人	9 7. 1 %
3 年度	3 6 5 日	2 4, 8 0 5 人	6 8. 0 人	9 7. 1 %
4 年度	3 6 5 日	2 4, 3 9 7 人	6 6. 8 人	9 5. 5 %
5 年度	3 6 6 日	2 4, 3 1 0 人	6 6. 4 人	9 4. 9 %
6 年度	3 6 5 日	2 6, 4 1 3 人	7 2. 4 人	—

② 介護度構成比 (R7.3.31) 平均要介護度 4.1

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	男	女
—	—	10.8%	52.2%	37.0%	17.0%	83.0%



③ 年齢構成 (R7.3.31) 平均年齢 90.5 歳

79 歳以下	80~84 歳	85~89 歳	90~94 歳	95~99 歳	100 歳以上
7 人	5 人	17 人	28 人	17 人	6 人

④ 入退所の状況

入 所 経 路				
在 宅	医療機関	介護老人保健施設	有料老人ホーム等	合 計
20 人	8 人	7 人	7 人	42 人

※ 雪椿の里デイ・ショート利用者の入所 11 人

退 所 経 路				
施設看取り	医療機関死亡	入院後退所	在宅復帰	合 計
22 人	9 人	1 人 (自宅看取り)	0 人	32 人

⑤ 地区別の受入状況 (R7.3.31)

地 区	南 魚 沼 市			魚 沼 市	湯 沢 町	長 岡 市
	大和地区	六日町地区	塩沢地区			
人 数	38 人	29 人	9 人	2 人	1 人	1 人

⑥ 入居者の ADL（日常生活動作）状況（R7.3.31）

■食事形態

項 目	経 管	常 食	きざみ	極きざみ	ミキサー	ムース	ゼリー	合 計
2 年度	3 人	11 人	18 人	20 人	11 人	6 人	0 人	69 人
3 年度	2 人	15 人	24 人	15 人	8 人	6 人	0 人	70 人
4 年度	2 人	9 人	21 人	20 人	12 人	6 人	0 人	70 人
5 年度	3 人	10 人	10 人	26 人	13 人	8 人	0 人	70 人
6 年度	3 人	10 人	21 人	21 人	21 人	4 人	0 人	80 人

■入 浴

項目	一般浴	特 浴
2 年度	10 人(14.5%)	59 人(85.5%)
3 年度	8 人(11.4%)	62 人(88.6%)
4 年度	7 人(10.0%)	63 人(90.0%)
5 年度	7 人(10.0%)	63 人(90.0%)
6 年度	10 人(12.5%)	70 人(87.5%)

■おむつ使用

項目	お む つ	リハパン	な し
2 年度	44 人(63.8%)	9 人(13.0%)	16 人(23.2%)
3 年度	39 人(55.8%)	12 人(17.1%)	19 人(27.1%)
4 年度	50 人(71.4%)	10 人(14.3%)	10 人(14.3%)
5 年度	51 人(72.8%)	9 人(12.9%)	10 人(14.3%)
6 年度	52 人(65.0%)	20 人(25.0%)	8 人(10.0%)

■移 動

項 目	自 立	歩行器	車椅子	リクライニング
2 年度	2 人 (2.9%)	3 人 (4.3%)	48 人(69.6%)	16 人(23.2%)
3 年度	1 人 (1.4%)	5 人 (7.1%)	52 人(74.4%)	12 人(17.1%)
4 年度	1 人 (1.4%)	3 人 (4.3%)	38 人(54.3%)	28 人(40.0%)
5 年度	1 人 (1.4%)	4 人 (5.7%)	35 人(50.0%)	30 人(42.9%)
6 年度	0 人	14 人(17.4%)	33 人(41.3%)	33 人(41.3%)

⑦ 認知症高齢者の日常生活自立度の状況（R7.3.31）

レベル	←軽 I	II a	II b	III a	III b	IV	M 重→
人数	2 人	3 人	6 人	41 人	7 人	21 人	0 人

※ 厚労省通知「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」

⑧ 医療的ケアの状況（R7.3.31）

項 目	人数	項 目	人数
在宅酸素療法機器	2 人	ストーマ（消化管ストーマ）	2 人
CPAP 呼吸器（睡眠時無呼吸症候群）	2 人	胃ろう	3 人
フォーレ（留置カテーテル）	8 人		

(2) ショートステイ

ショートステイは7月から10床を特養に転換し、95%の稼働を目指して取り組んできました。転換直後は空きがなく、受け入れをお断りする場面もありましたが、次第に利用者が固定してくると、直前のキャンセルが影響し、稼働率は目標に僅かに届かず93.6%でした。

キャンセルがあった場合は、各居宅介護支援事業所に空き情報の提供を行いご利用に繋がるケースがありました。また、緊急の利用希望には特養の空床を使うなど、積極的な受け入れを行ってきました。

ユニットでは、感染対策を継続しながら体操やレクリエーションを行い、楽しんでいただけるようサービスを提供してきました。利用者の安全・安心を第一としてきましたが、転倒事故と誤薬事故の発生が複数あり、再発防止に取り組みました。

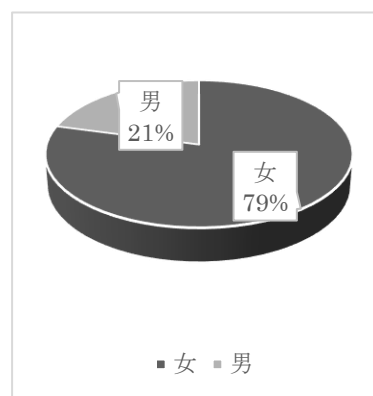
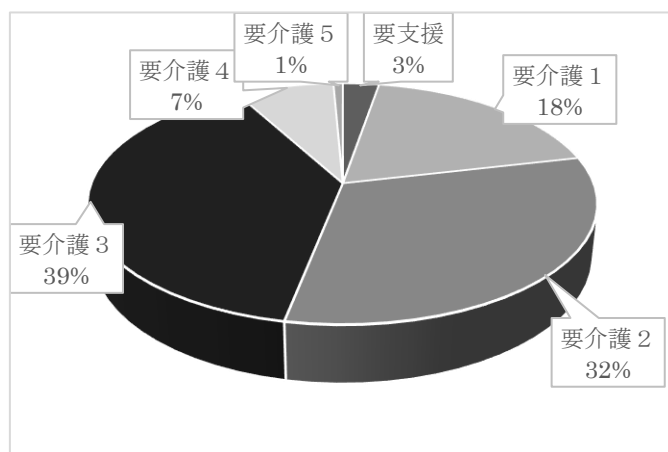
医療的ケアが必要な利用者が増加しており、受け入れにはご家族やケアマネ、多職種とのコミュニケーションを重視し、柔軟な対応に努めてきました。

① 年間稼働状況

項 目	平均利用者数	稼働率	利用延べ人数	利用実人数	月平均利用日数
2年度	14.4人	72.2%	5,269人	950人	5.5日
3年度	15.6人	78.2%	5,711人	1,016人	5.6日
4年度	15.6人	77.8%	5,679人	973人	5.8日
5年度	14.9人	74.5%	5,451人	1,040人	5.2日
6年度	10.4人	—	3,798人	1,028人	3.7日

② 介護度構成比 (R7.3.31) 平均要介護度 2.3

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女
1.1%	1.6%	18.7%	31.7%	38.9%	7.3%	0.7%	20.7%	79.3%



(3) デイサービス

デイサービスは、前年度行った 24 人への定員拡大と閉鎖した「JA デイサービスなの里あいあい」からの移行（受入 7 人）により、利用人数を伸ばしました。年間の新規登録者数は 20 人で、期末の実登録者数は 61 人となっています。利用延べ人数は、前年を大きく上回る 5,707 人となりました。

全体的に利用者の日常生活自立度の低下が見られ、見守りで動くことができていた利用者が減少し、付き添い介助が増加しています。また、ストーマ・胃ろうなどの医療処置が必要な利用者が増えており、今後のサービスに医療的ケアの質・技術の向上が求められています。

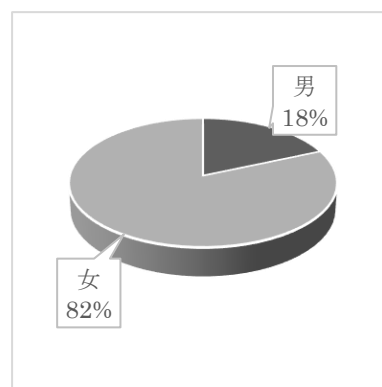
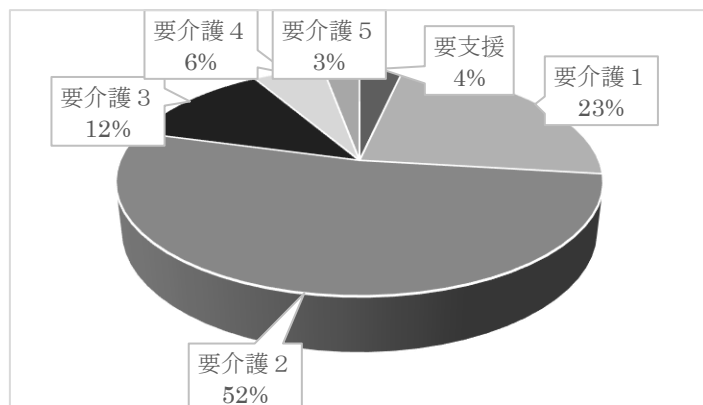
この冬には自宅で転倒し入院されたケースが複数件あり、稼働に影響を受けたほか、大雪で送迎車両が後方から追突され、軽傷でしたが利用者と職員が治療を受けるという事故が発生しました。

① 年間稼働状況

項 目	平均利用者数	稼働率	利用延べ人数	年間延べ登録数	月平均利用日数
2 年度	1 6 . 2 人	81.0%	5 , 0 2 7 人	6 6 6 人	7 . 5 日
3 年度	1 6 . 8 人	84.0%	5 , 2 2 7 人	7 1 2 人	7 . 3 日
4 年度	1 6 . 1 人	80.4%	5 , 0 0 1 人	6 4 3 人	7 . 8 日
5 年度	1 7 . 5 人	—	5 , 4 5 0 人	7 2 1 人	7 . 3 日
6 年度	1 8 . 4 人	76.7%	5 , 7 0 7 人	7 3 5 人	7 . 9 日

② 介護度構成比（R7.3.31） 平均要介護度 2.0

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	男	女
—	3.5%	23.4%	52.3%	12.3%	5.6%	2.9%	18.5%	81.5%



(4) 認知症対応型デイサービス（地域密着型）

認知デイの期末登録者数は 20 人で、新規契約が 6 人、契約終了が 9 人でした。新規契約の内 2 人は「なの里あいあい」からの移行です。実登録者数はやや減少したものの 1 人あたり利用回数が増加し、稼働率は 70%を超えました。

認知デイを広く知っていただくため、圏域の医療福祉従事者を結ぶネットワークに空き情報を提供したり、認知デイつばき新聞を年 4 回発行し、活動内容を各居宅介護支援事業所やご家族にお知らせする取り組みを積極的に行ってきました。

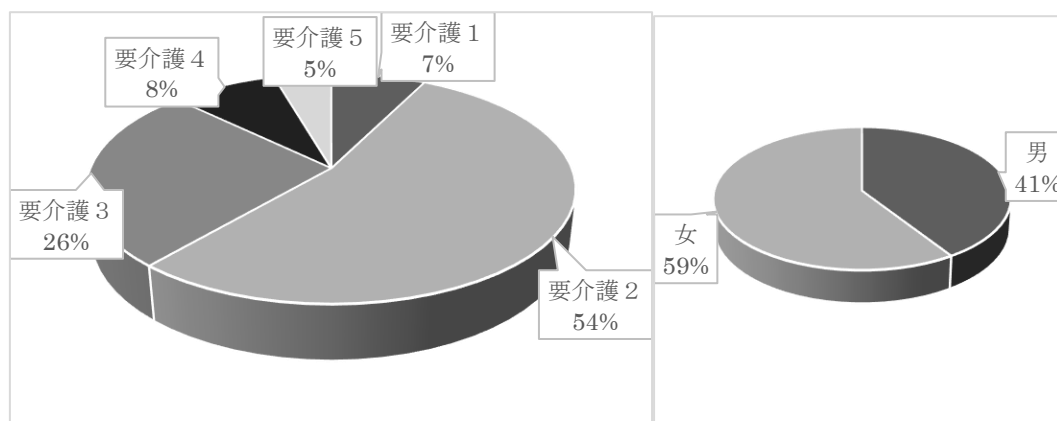
利用者の状態は、軽度（要支援・要介護 1）または重度（要介護 4・5）の方が減少し、中度（要介護 2・3）の方が増加しました。平均介護度はやや上がり、男性の比率が約 15%上昇しました。体の動きに大きな問題はなくとも認知症による周辺症状のため、食事・入浴・排泄など日常生活全般に介助を要する方が増えています。小規模の優位性を活かし寄り添う介護を第一に心がけ、職員のスキルアップを図りながらサービスを提供してきました。

① 年間稼働状況

項 目	平均利用者数	稼働率	利用延べ人数	年間延べ登録数	月平均利用日数
2 年度	7. 6 人	75.5%	2, 3 4 1 人	2 4 6 人	9. 5 日
3 年度	7. 1 人	71.1%	2, 2 1 2 人	2 2 1 人	1 0. 0 日
4 年度	6. 4 人	63.8%	1, 9 8 5 人	2 3 2 人	8. 6 日
5 年度	6. 4 人	64.0%	1, 9 8 9 人	2 4 4 人	8. 2 日
6 年度	7. 0 人	70.1%	2, 1 7 6 人	2 4 7 人	8. 8 日

② 介護度構成比（R7.3.31） 平均要介護度 2.5

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	男	女
—	—	7.4%	53.9%	25.9%	8.3%	4.5%	40.8%	59.2%



(5) 居宅介護支援

今年度、新規契約者 10 人、契約終了者 11 人となり、やや契約件数を減らしました。終了者の内訳は施設入所 7 人、死亡 4 人となっています。

大和病院の診療所移行により、利用者の入院治療ができないケースがありましたが、訪問看護を通して在宅治療を行い回復されました。また、独居の認知症の方について地域ケア会議を開き支えてきました。

雪椿の里デイサービス・ショートステイの利用にあたっては、各職員と綿密な情報共有を行い、病状悪化の早期発見をはじめ、個別の支援に努めてきました。

① 年間契約利用状況

項 目	要介護 契約者	雪椿の里 DS 利用者	雪椿の里 SS 利用者	要支援 契約者	雪椿の里 DS 利用者	雪椿の里 SS 利用者
2 年度	29 人	(12 人)	(12 人)	1 人	(0 人)	(0 人)
3 年度	29 人	(11 人)	(12 人)	1 人	(0 人)	(0 人)
4 年度	28 人	(11 人)	(11 人)	1 人	(0 人)	(0 人)
5 年度	29 人	(13 人)	(11 人)	1 人	(0 人)	(0 人)
6 年度	27 人	(10 人)	(6 人)	1 人	(0 人)	(0 人)

※ () 利用契約者のうち当施設サービス利用者

4. 評議員会・理事会の開催状況

令和 6 年度の評議員会・理事会は、次のとおり開催されました。

(1) 評議員会

① 第 1 回評議員会 令和 6 年 6 月 21 日 (金)

【付議事項】

報 告 事 項 令和 6～8 年度 (3 か年) 社会福祉法人八海福社会事業計画について
(第 9 期南魚沼市介護保険事業計画に基づく介護サービス計画書)

第 1 号議案 令和 5 年度事業報告書の承認について

(報 告) 令和 5 年度科目間流用及び予備費の充当について

第 2 号議案 令和 5 年度 (第 13 期) 決算報告書の承認について

(監査報告書) 監査報告について

② 第 2 回評議員会 令和 7 年 3 月 28 日 (金)

【付議事項】 (書面議決)

第 1 号議案 令和 6 年度資金収支補正予算書について

第 2 号議案 令和 7 年度事業計画並びに令和 7 年度資金収支予算書について

(2) 理事会

①第1回理事会 令和6年6月14日（金）

【付議事項】

報告事項 令和6～8年度（3カ年）社会福祉法人八海福社会事業計画について
（第9期南魚沼市介護保険事業計画に基づく介護サービス整備計画）

第1号議案 令和5年度事業報告書の承認について

（報告） 令和5年度科目間流用及び予備費の充当について

第2号議案 令和5年度（第13期）決算報告書の承認について

（監査報告書） 監査報告について

第3号議案 評議員会の招集について

②第2回理事会 令和6年11月26日（火）

【付議事項】

第1号議案 令和6年度上半期事業実績について

③第3回理事会 令和7年2月20日（木）

【付議事項】（書面議決）

第1号議案 長期借入金の借り換えについて

第2号議案 長期借入金の新規申し込みについて

④第4回理事会 令和7年3月21日（金）

【付議事項】

第1号議案 令和6年度資金収支補正予算書について

第2号議案 固定資産の取得並びに長期設備資金借入金の実行について

第3号議案 令和7年度事業計画並びに令和7年度資金収支予算書について

第4号議案 評議員会の招集について

5. 役員等の状況（令和7年3月31日現在）

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
評議員	大平敏夫	非常勤	
〃	峠英男	〃	
〃	遠山巖	〃	
〃	佐藤哲哉	〃	
〃	山口恒一	〃	
〃	高橋正紀	〃	
〃	田邊浩	〃	
〃	高橋岳久	〃	

評議員8名

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
理 事 長	若 井 博	常 勤	
業務執行理事	山 口 隆 志	〃	
理 事	種 村 哲 夫	非 常 勤	
〃	鈴 木 實	〃	
〃	清 塚 登	〃	
〃	井 口 裕 幸	常 勤	施設長（職員兼務理事）
監 事	小 幡 義 夫	非 常 勤	
〃	藤ノ木 靖 子	〃	
〃	金 子 剛	〃	

理事 6 名・監事 3 名

6. 職員配置の状況

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

職 種	常 勤	非常勤	計	備 考
管 理 者	1		1	
（医 師）		（3）	（3）	嘱託医師・歯科医師
生活相談員	4		4	社会福祉士・主事、兼務 2
看護職員	4	8	12	
管理栄養士・栄養士	2		2	管理栄養士 1・栄養士 1
機能訓練指導員	1		1	作業療法士
介護職員	47	4	51	内介護福祉士 46
介護支援専門員	1		1	施設ケアマネ
居宅介護支援専門員	1		1	居宅主任ケアマネ
入浴介助・介護補助員	2	17	19	
運転・施設管理職員	3	1	4	
清掃管理職員	3	3	6	
給食職員	5	5	10	調理師 5
宿 直 員		3	3	
事 務 員	3	1	4	
合 計	77	42	119	（ ）除く

7. 主な処理事項

年 月 日	処 理 事 項	備 考
R6. 4. 1	令和 6 年度辞令交付	
4.13	北里大学健康科学部開設記念式典	
5.13	大崎地域づくり協議会花苗配布	
5.14	春季防災訓練（消火訓練・通報訓練・避難訓練）	
5.17	入所検討委員会	
5.18	第 1 回口腔衛生管理研修会	中澤歯科
6. 1	開所記念膳	
6.12	決算監査・監事会	
〃	南魚沼地域感染対策検討会	
6.14	理事会	
6.16	介護福祉士実務者研修スクーリングスタート	9 月まで全 7 回
6.21	評議員会	
6.24	新潟県高齢者虐待防止研修会	
6.24~25	魚沼サンテックスクール講師派遣	初任者研修
7. 1	特養・ショート定員指定変更	
7. 4	居宅介護支援事業所運営指導	
7.17	AED・心肺蘇生研修会	30 名
7.19	入所検討委員会	
7.25	地域密着型デイサービス運営推進会議	
7.29	給食施設巡回指導	南魚沼保健所
7.30~31	八海中学校デイサービス職場体験	
8. 7	職員健康診断・ストレスチェック	
〃	消防立入検査	
8.21	北里大学保健看護科 2 年生看護展開基礎実習	9/3 まで 4 名
8.27	ゆきぐに大和診療所移行打ち合わせ	
8.30	身体拘束廃止・虐待防止研修会	
9. 4	事故防止リスクマネジメント研修会	
9. 5	評議員・役員研修会「少子・高齢化時代の課題」	
9. 5~6	ユニットリーダー研修	
9.16	敬老会	百歳 4・米寿 3
9.17~18	魚沼サンテックスクール講師派遣	初任者研修
9.20	入所検討委員会	
10.11	年金事務所調査	

年 月 日	処 理 事 項	備 考
10.15	業務継続計画に基づく自然災害発生訓練	
10.18	介護技術研修会（褥瘡予防・腰痛予防）	
10.22	魚沼圏域口腔ケア研修会	
10.23	階層別係長・主任マネジメント研修	
11. 1	大和地域包括医療センター開所式	
11. 5	ケアマネ専門研修会	11/12.13
11. 7	労務研修会	
11.11	インフルエンザ予防接種開始	12/9 まで
11.12~15	ユニットリーダー研修	
11.15	入所検討委員会	
11.20	南魚沼市長選挙不在者投票	
11.22	感染症及び食中毒のまん延防止に係る研修	BCP 含む
11.26	理事会	
11.30	第 2 回口腔衛生管理研修会	中澤歯科
12. 2-5	魚沼サテックスクール講師派遣	初任者研修
12.11	階層別係長・主任マネジメント研修	
12.15	チェロ演奏会（ボランティア）	
12.17	接遇研修	
〃	夜間想定火災通報避難訓練	
R7. 1. 2~3	北里大学学生ボランティア	
1. 6	新型コロナワクチン接種（1.27 まで）	
1.14	新潟県介護支援専門員全体研修	
1.17	入所検討委員会	
1.22	レクレーション研修	
1.22-23	給食職員研修	
2. 6	南魚沼市地域密着型サービス運営委員会	
2.17	認知症対応型サービス事業管理者研修	
〃	夜勤者健康診断	
2.18-27	介護技術研修（全 4 回）	
2.20	理事会	書面議決
3.12	南魚沼地域相談員意見交換会	
3.14	認知症対応型デイサービス運営推進会議	
3.21	入所検討委員会	
〃	理事会	
3.28	評議員会	

8. その他行われた諸会議（定期開催）

(1) 委員会

防災委員会・身体拘束適正化検討委員会・虐待防止検討委員会・給食委員会・感染対策委員会・事故防止検討委員会・安全衛生委員会・くもん学習委員会・喀痰吸引委員会

(2) 外部委嘱委員を伴う会議

苦情解決検討委員会・入所検討委員会・地域密着型デイサービス運営推進会議

(3) その他の内部会議

経営会議（主任以上）・主任リーダー業務連絡会議・フロア会議・ユニット会議

9. 苦情の概要

(1) ショートステイ 1件

滞在中のアクシデントについて、ご家族への謝罪、報告不足。ケアマネからの苦情。

(2) デイサービス 1件

職員の対応について、本人からの苦情。